

◆個人別明細書の書き方について（記載例）

※										※種 別										※ 整 理 番 号										※																																																																					
支払を受ける者										住所 中城村字当間585番地1										氏名 中城 数太郎										源泉徴収税額																																																																					
種 別										支 払 金 額										給与所得控除後の金額 (調整控除後)										所得控除の額の合計額										源泉徴収税額																																																											
給与・賞与										6 543 210										4 794 500										4 099 321										0																																																											
源泉控除対象配偶者の有無等										配偶者(特別)控除の額										控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)										16歳未満扶養親族の数										障害者の数(本人を除く)										非居住者である親族の数																																																	
有 従有										380 000										2										1										2										5										2																																							
社会保険料等の金額										生命保険料の控除額										地震保険料の控除額										住宅借入金等特別控除の額																																																																					
654 321										85 000																				35 000																																																																					
(摘要)																																																																																																			
(1)1234567890987 中城四季子(非居住者)																																																																																																			
(2)9876543210987 中城五郎(年少)																																																																																																			
【前職】有限会社 中城〇〇〇 令和2年3月31日 退職																																																																																																			
支払金額：1,350,000円 社会保険料：135,000円 源泉徴収税額：45,000円																																																																																																			
生命保険料の金額の内訳										新生命保険料の金額										旧生命保険料の金額										介護医療保険料の金額										新個人年金保険料の金額										旧個人年金保険料の金額																																																	
120,000										180,000										60,000																																																																															
住宅借入金等特別控除の内訳										住宅借入金等特別控除適用数										居住開始年月日(1回目)										住宅借入金等特別控除区分(1回目)										住宅借入金等年末残高(1回目)										住宅借入金等特別控除区分(2回目)										住宅借入金等年末残高(2回目)																																							
1										31 3										1										住										25,000,000																																																											
250,000																																																																																																			
(源泉・特別)控除対象配偶者の氏名										中城 花子										配偶者の合計所得										310,000										国民年金保険料等の金額										旧長期損害保険料の金額																																																	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																																																																																																			
1										中城 春子										1										中城 三郎										1										中城 秋子										1																																							
2										中城 一郎										2										中城 秋子										2										中城 冬子										2																																							
3										中城 二郎										3										中城 冬子										3										中城 四郎										3																																							
4										中城 夏子										4										中城 四郎										4																																																											
5																																																																																																			
未 成 年 者										外 国 人										死 亡 退 職 者										災 害 者										乙 欄										本人が障害者										寡 婦										ひとり親										勤 労 学 生																			
中途就・退職										受給者生年月日																																																																																									
個人番号又は法人番号										1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3										(右詰で記載してください。)										40123456																																																																					
住所(居所)又は所在地										中城村字当間176番地																																																																																									
氏名又は名称										株式会社 中城〇〇〇																																																																																									

No.	項目名	内 容
①	支払を受ける者	<p>《住 所》 令和3年1月1日現在の住所を記入します。</p> <p>《個人番号》 受給者のマイナンバーを記載して下さい。</p> <p>※マイナンバーの提出を拒否した場合は、「⑭. 摘要欄」にその旨を記載してください。</p>
②	支払金額	令和2年中（令和2年1月～令和2年12月）に支払った金額を記入します。中途就職者で前職分の支払金額も含めて年末調整をした場合は、前職分の金額も合算して記入してください。
③	(源泉)控除対象配偶者の有無等	<p>(1)「有」欄 主たる給与等において、支払を受ける方が年末調整の適用を受けている場合は、控除対象配偶者を有しているときは、「○」と記載してください。 年末調整を受けていない場合は、源泉控除対象配偶者を有しているときに「○」と記載してください。</p> <p>(2)「従有」欄 従たる給与等において、源泉控除対象配偶者を有している場合は「○」と記載してください。</p> <p>(3)「老人」欄 控除対象配偶者が老人控除対象配偶者である場合には「○」と記載します。</p>
④	配偶者(特別)控除の額	「給与所得者の配偶者控除等申告書」に基づいて計算された配偶者控除額または配偶者特別控除額を記載してください。控除額がある場合、⑧の欄に配偶者の合計所得金額も記入します。
⑤	非居住者である親族の数	配偶者控除又は配偶者特別控除の対象となる配偶者、控除対象扶養親族及び16歳未満の扶養親族のうちに、国外に居住する非居住者がいる場合には、その人数を記載してください。
⑥	住宅借入金特別控除の額	住宅借入金等特別控除の額を記載してください。当該控除額が算出所得税額を超える場合には、算出所得税額を限度に記載します。
⑦	住宅借入金等特別控除の額の内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅借入金等特別控除適用数 控除の適用がある場合は、当該控除の適用数を記載してください。</li> <li>・住宅借入金等特別控除可能額 控除額が算出所得税額を超えるため、控除しきれない控除額がある場合に記載してください。</li> <li>・居住開始年月日（1回目、2回目） 居住開始年月日は、和暦で年、月、日を分けて記載してください。</li> <li>・住宅借入金等特別控除区分（1回目、2回目） 適用を受けている控除の区分ごとに、「住・認・増・震」を記載してください。また、当該控除の対象が特定取得に該当する場合は、後ろに「(特)」を記載してください。</li> <li>・住宅借入金等年末残高（1回目、2回目） 2以上の控除の適用がある場合又は特定増改築等に該当する場合には、その住宅の取得等ごとに、「住宅借入金等年末残高」を記載してください。</li> </ul>
⑧	配偶者の合計所得	控除対象配偶者、配偶者特別控除の対象となる配偶者の令和2年中の合計所得金額を記載してください。

No.	項目名	内 容
⑨	(源泉・特別)控除対象配偶者	配偶者控除の対象となる配偶者または配偶者特別控除の対象となる配偶者の氏名、フリガナ及びマイナンバーを記載してください。(年末調整の適用を受けていない場合には、源泉控除対象配偶者の氏名及びマイナンバーを記載してください。)また、当該配偶者が国外に居住する非居住者である場合には、区分の欄に○を付してください。
⑩	控除対象扶養親族	扶養控除の対象となる扶養親族の氏名、フリガナ及びマイナンバーを記載してください。また、当該配偶者及び扶養親族が国外に居住する非居住者である場合には、区分の欄に○を付してください。
⑪	16歳未満の扶養親族	16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ及びマイナンバーを記載してください。また、当該扶養親族が国外に居住する非居住者である場合には、区分の欄に○を付してください。
⑫	5人目以降の(16歳未満)控除対象扶養親族の個人番号	5人目以降の控除対象扶養親族及び16歳未満の扶養親族のマイナンバーを記載してください。この場合、マイナンバーの前には「(摘要)」欄において氏名の前に記載した括弧書きの数字を付し、「(摘要)」欄に記載した氏名との対応関係が分かるようにしてください。
⑬	支払者の個人番号または法人番号	支払者が、法人の場合は法人番号を、個人事業主の場合はマイナンバーを右詰で記載してください。また、総括表に押印があれば、個別明細書に押印する必要はありません。
⑭	摘要	⑩・⑪の欄に入りきれない5人目以降の扶養親族の氏名を記載します。この場合、氏名の前には括弧書きの数字を付し、⑫の欄に記載するマイナンバーとの対応関係が分かるようにしてください。 また、この欄に記載される扶養親族が次に該当する場合には、それぞれ次の内容を記載してください。 ※【例】・16歳未満の扶養親族→(年少) ・国外に居住する非居住者→(非居住者)  3以上の住宅借入金等特別控除の適用がある場合は、3回目以降の住宅の取得等について、その住宅の取得等ごとに、「居住開始年月日」、「住宅借入金等特別控除区分」及び「住宅借入金等年末残高」を記載してください。  中途就職者で、前職場給与等を通算して年末調整を行った場合には、前職分の給与支払金額・社会保険料・源泉徴収税額、前職場の名称・住所・退職年月日を記載してください。  同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合は、同一生計配偶者の氏名及びその者が同一生計配偶者である旨を記載してください。 ※【例】中城 花子(同配)
⑮	普通徴収切替理由	村・県民税を特別徴収できない場合は、「普通徴収切替理由書」の普通徴収とする理由に該当する略号(a~f)を、⑭の摘要欄に記載してください。略号の記載がない場合は特別徴収となります。※普通徴収切替理由につきましては、総括表をご参照ください。